

蔵書点検がおわいました

蔵書点検とは、図書館の本を1冊ずつ「ピッ」とバーコードを読み取って本が全部あるかを調べる作業です。この点検で、まいごになっている本が分かりました。図書館の入り口に、まいごの本のタイトルを書きだします。まいごの本を見つけたら、返却ボックスに入れてください。蔵書点検の時に、本を決まった場所に返し整理したので、本が探しやすくなっています！



祝
卒業おめでとう！

6年生のみなさん



早いもので、3月はいよいよ卒業式ですね。2016年の「1年生を迎える会」や「朝の読み聞かせ」「夏休み・冬休み前貸出し」など、みなさんとの思い出がたくさんあります。卒業までの2か月で、思い出の本と再会したり、新たな本に出会えるといいですね。6年生が利用できる曜日に、どんどん来てください！開放図書館「くわのみ」は、中学生になるみなさんも応援しています。

4月開館日のお知らせ

新年度の一般利用開始は、4/18(月)を予定しておりますが、学校行事の関係や新型コロナウイルスの感染状況により、変更になる可能性があります。学校HP・正面玄関の掲示をご確認のうえ、ご来校ください。

次回226号の発行は、新年度の4月中旬です。



『ルドルフとイッパイアッテナ』

作：斉藤 洋 絵：杉浦 範茂

(黄●コーナーにあります)

猫と人間、それぞれの愛と友情の物語。

ひよんなことから、長距離トラックで東京にきてしまった黒猫ルドルフ。土地のボス猫と出会い、このイッパイアッテナとの愉快なノラ猫生活がはじまった……。



図書館には、ルドルフシリーズがほかにもあります。

自分が小学生のときに大好きだった本です。
ノラネコたちの絆に感動です！！



竹内先生

この本、おすすめ！

『おおきな木』

作/絵：シェル・シルヴァスタイン 訳：ほんだ きんいちろう

(緑●コーナーにあります)

世界で読み継がれているロングセラーの本です。

リンゴの木と少年は小さなころからとても仲良しで、一緒に過ごしていました。少年は大きくなるにつれてリンゴの木に会いに来なくなりました。大きくなった少年がリンゴの木に会いに来ましたが、昔のように遊ぶことなく「お金が欲しい」と言いました。リンゴの木は……。



壽楽先生

読み終わった後、人とのつながりについて考えさせられました。人を思うことのすばらしさ、難しさ…とても大きなものを感じました。



図書館には、村上春樹さんが訳した「おおきな木」もあります。